

テーマ：「基礎科目で学ぶ西諸学（にしもろがく）」

カテゴリー：教育内容（授業）

学校概要：学校名：学校法人宮崎総合学院小林看護医療専門学校 所在地：宮崎県小林市駅南 309 番地

課程名：看護学科3年課程 1学年定員数：40名 修業年限：3年間

1. 科目を設定した経緯とねらい

本校は、宮崎県の小林市を中心とした西諸地域山間部にあり、地域の高齢化率は41.3%である。学生が実習先で出会う患者の多くが高齢者であり、看護を実践するためには、学生自身とは異なる時代や文化を生活している人々を理解する必要がある。しかし、患者理解の手段となる言語にも地域特性があり、コミュニケーションにつまずく学生も多い。そのため、この西諸地域の歴史や自然、言語や信仰、食に至るまでの文化を広い視野から学び、患者理解に必要な視点を学ぶ。地域の文化財に触れ、見えないものに想いを馳せることで、想像力を働かせ、患者の置かれている背景を読み取ろうとする力を養いたい。そして、多様な価値観を理解し尊重する態度を身につけさせるとともに、10年先を見据え地域共生社会を支える基礎となる学びになることを期待し、科目を設定した。

2. 西諸学についての思い 講師：坂下慎一先生

高齢社会が進行している日本において、看護を学び、医療現場で働いていく上で高齢者とのコミュニケーションはかかせないものである。西諸地域は宮崎県でありながら鹿児島の影響強いため、個性的でなおかつ独自の文化や言語（方言）が形成されている。看護を学ぶ今の若者たちの言語はメディアの影響で、急速に共通語化が進んでいることから、この地域独自の方言に触れる機会が乏しい。西諸学では、西諸の自然、環境はもちろんのこと歴史的な背景から現在に至るまでの文化や言語を体系的に学ぶ。そして、特徴ある文化や習慣、数多くの方言に触れることで、今の若者たちが、「方言を話すことは難しいが、聞き取ることはできる」ことは高齢者とのコミュニケーションや看護の実践においても重要ではないかと考えている。

3. シラバス

4. 授業の様子《フィールドワークの様子》

- 1. 西諸学について
- 2. 西諸の地理と自然
- 3. 西諸の産業と観光
- 4. 石造文化と人々の暮らし
- 5. 西諸と霧島信仰
- 6. 田の神さあを発見しよう（フィールドワーク）
- 7. 島津と伊東の100年戦争
- 8. 西南戦争と火事と水路
- 9. 防災の歴史探索～水路～（フィールドワーク）
- 10. 西諸の資源を生かしたツアー作成
- 11. 西諸方言学Ⅰ 基礎講座
- 12. 西諸方言学Ⅱ 実践講座
- 13. 西諸地域の食文化 がねつくり
- 14. 西諸の伝記・伝承
- 15. 西諸方言学Ⅲ 物語を方言で表現しよう



5. 学生の学び（第9回フィールドワーク後：学生レポートより一部抜粋）

- ・水路や防火壁がある場所や理由を知り、遙か昔の人々が未来の人々のためのことも考えながら作ったことが分かった。西諸地域はたくさんの人に愛され大切にされている知り、私も嬉しくなった。（学生A）
- ・昔実際に使われていた橋を、今日、自分が歩いたのだと思うと、とても感慨深い気持ちになった。これからも大切に残していきたいと思った。（学生B）